

## 6. 目標値の設定

緑の基本計画における緑の将来像や基本方針の達成状況を把握し、効果的な取り組みを計画的に推進するため、以下の目標値を設定しました。

### 指標 1 市内の高木本数

市内の緑化を推進していくため、公共施設や民間施設において、高木（樹高が 3m 以上になる木）を増やすことを目標とします。将来的に「住民 1 人に 1 本の植生」を目指します。

現状値	目標値(2028年)
142,000 本	⇒ 162,000 本
	に増やします

### 指標 2 市内の緑の面積割合

今後も人口増加が予測される中、緑の保全と都市整備が調和した都市づくりが必要であるため、市域に対する緑の面積割合を指標として設定し、計画的に緑の保全を図ることを目標とします。

現状値	目標値(2028年)
47%	⇒ 46%
	までの減少に抑えます

### 指標 3 市内の都市公園の住民一人あたり整備量

市民に憩いや安らぎなどを与える公園整備を計画的に推進する必要があるため、市内の都市公園の住民一人あたり整備量を指標とし、整備を計画的かつ着実に推進することを目標とします。将来的には、一人あたりの都市公園の整備量を 10 m<sup>2</sup>/人にすることを目指します。

現状値	目標値(2028年)
5.3 m <sup>2</sup> /人	⇒ 6.2m <sup>2</sup> /人
	に増やします

### 指標 4 公園・緑地の徒歩利用圏のカバー率

市民にとって身近な公園を整備し、健康的な生活を支援することが必要なため、市街化区域内で公園が不足する地域を減らします。将来的には、緑化重点地区（※）の全域を徒歩利用圏でカバーすることを目標とします。

現状値	目標値(2028年)
72%	⇒ 74%
	に増やします

※緑化重点地区については、23 頁を参照

## 指標 5 都市公園の更新数

公園に対する多様なニーズに応えることと、量的拡大だけでなく、質的拡充を計画的かつ着実に推進することが必要であるため、長寿命化対策とリニューアルを行った公園を増やすことを目標とします。

	現状値	目標値(2028年)
長寿命化	4箇所	⇒ 46箇所
リニューアル	0箇所	⇒ 12箇所

に増やします

## 指標 6 身近な緑の量が多いと感じる割合

市民が身近に緑を感じられる都市環境を整備するとともに、日本デンマークと呼ばれてきた本市の農地等の緑を、身近に感じられることが必要のため、市民アンケート調査における「身近な緑の量が多いと感じる割合」を増やすことを目標とします。

現状値	目標値(2028年)
67%	⇒ 70%

に増やします

### コラム

#### 「桜再生計画」の紹介

桜は、多くの市民にとって親しみがあり、美しい風景を演出してくれます。

安城公園は、桜の名所であり、毎年「桜まつり」が開催されますが、近年、桜の木の劣化が目立つようになってきています。

安城市では、桜の風景を保全するため、桜の植え替えや土壌改良など「桜再生計画」を推進しています。

